

第6回の上伊那の仕事と暮らしの特集はタカノ株式会社です。

タカノ株式会社は1941年にばねの製造から始まり、現在はフアニチャー事業、エクステリア事業、検査計測事業、産業機器事業、健康福祉関連事業と多角的な事業展開をしています。

なぜタカノは多角的な事業展開を行っているのでしょうか。取材をする中で実は一つ一つの事業にタカノの持っている独自の技術と世の中のニーズがマッチした誕生秘話があることが見えてきました。

世の中のニーズに柔軟に対応。

「実は多角的な事業展開は時代の移り（人事部）森田さん
変わりと共に変化する世の中のニーズに柔軟に対応した結果なんです。」と笑顔で話し出してくれたのは人事部の森田さん。

例えば主力製品の「オフィス家具」は、工場
で使っていた椅子が壊れやすかったため
自社のばねの技術をいかして、耐久性が
高く、座り心地良い椅子を生産できないか
と考え、誕生したものだそうです。

森田さんは「事業」ことの開発や大学と
の共同研究を行いながら「研究開発型
企業」として自社技術の研究と世の中の
ニーズの掘り起こしには特に力をいれて
います。」と話します。

また、地域貢献の一環としてエクス
テリア工場の横に「ルビーの里」というガ
ーデンを併設しています。このガーデンも
利用者の声に柔軟に対応し、トイレなど
を整備したそうです。

「手入れは会社OBや社員も行っており、
6月中旬から7月中旬と9月下旬から11月
上旬が赤そばの見頃です。ぜひ、地域の
皆様に気軽に利用していただきたいです。」
と話してくれました。



森田さん

ITスキルは製造業でも生かれます。

ネットワーク部門で社内システムの
保守や開発を担当する小牧さんは県外
の情報系の大学に進学後、上伊那へU
ターンすることを決めました。

「最初はシステムを専門に販売する
企業を中心に就職活動を行っていましたが、
就職活動を行う中で社内システムのエン
지니어という職種があることが分かり、
製造業でも自分の学んだことが仕事に
生かせると思い、入社を決めました。」と
小牧さんは話します。

仕事のやりがいについて聞くと、「システム
を実際に利用してもらい、良くも悪くも
利用した感想を直接受け取れることが
うれしいですね。システムで完成がないん
です。どんどん新しいツールが出てくる
ので絶えず勉強です。」と笑いながら話して

自分が開発した製品がお客様のことで。

「設計に携わった製品がお客様の力で
利用されている実感が持てるのがうれ
しいです。」と話すのはフアニチャー部門の
横松さん。横松さんは静岡県出身で長野
県内の大学へ進学後、社員の雰囲気や開発
に力を入れるチャレンジ精神に惹かれ、
入社を決めました。

「現在は製品の設計が担当です。設計では
安全面や品質面、製造のしやすさなどを考
えるべきことがたくさんあります。トライ
&エラーの繰り返しですが、その分やりがい
もある仕事です。」と話す横松さん。

また、フアニチャー
部門では毎朝自分



横松さん

くれました。

Uターンして良かった
ことについては「特に
子どもが生まれてから
は、広い公園で伸び仲
びと遊ばせてあげられ
ることに自分自身も
喜びを感じています。
また、タカノでは在宅
勤務やフレックス勤務
が制度化されていて、
柔軟な働き方ができる
ので、子どもと遊ぶ時
間も確保しやすくて
うれしいです。」と笑顔
で話してくれた小牧
さんでした。

の好きな椅子を選んで好きな席に座る
フリーアドレスを導入しているそうです。
「たまたま隣に座って会話が弾むことも
あり、誰にでも相談しやすくアイデアを出し
やすい雰囲気があります。」と話します。

上伊那にUターンした感想は「おしゃべりな
カフェなどもあって休日は友達とリフレッ
シユできています。スーパなども充実して
いるので生活は想像以上に便利ですね。
アクティブな方なので今後は上伊那の自然
を堪能するために、キャンプや登山にも挑戦
してみたいです。」と話してくれました。

「たまたま隣に座って会話が弾むことも
あり、誰にでも相談しやすくアイデアを出し
やすい雰囲気があります。」と話します。



小牧さん

■タカノ株式会社の取材を終えて

本文に書ききれませんが、多角的な事業をキャラクター化するプロジェクトがあったり、オンライン夏祭りを企画し各事業所から大勢の社員が参加したりと、いろいろな発想力、企画力をお持ちのタカノの社員さん。一つ一つのアイデアに周囲が共感し、具体化までチームで持っていく姿にタカノのチームワークの強さ、社内の風通しの良さを感じました！



暮らす・働く
応援サイト
Kamiina Life
公式HPはこちら

